

## 岡山多文化共生政策研究会の研究報告について

平成21年度において多文化共生社会づくりを進めるため「岡山多文化共生政策研究会」を立ち上げ、この度、今後の施策の方向性等についての研究報告をとりまとめた。

## 1 研究目的

大学や自治体等が協働により、在住外国人の状況など本県の実状を踏まえた効果的な多文化共生施策や各主体の役割について研究したものである。

## 2 構成員

岡山大学、岡山県、岡山市、倉敷市、津山市、総社市、(財)岡山県国際交流協会

## 3 研究概要

## (1) 研究会の開催

平成21年4月～平成22年9月23日(6回開催)

## (2) 専門家や先進自治体からの意見聴取

平成21年12月～平成22年3月(3回実施)

## 〈今後求められる施策の方向性〉

<b>1 多言語での情報提供</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・来日当初に、外国人登録窓口で、日本で生活する上での基本的な生活情報をガイドブックなどで提供すること。</li> <li>・役所の案内板等を、ひらがなやカタカナのルビを振るなど外国人が理解しやすい表示をするユニバーサルデザイン化に配慮すること。</li> </ul>
<b>2 日本語学習支援</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人から子どもまで幅広く利用できるよう日本語教室の開催日や時間などを工夫すること。</li> <li>・自由に日本語学習ができるよう、公民館や図書館などに学習教材を整備し、また、学習についての相談ができるコーディネーターを配置するなど、日本語学習のきっかけづくりとなる環境を整備すること。</li> </ul>
<b>3 相談窓口の連携</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・在住外国人が抱える問題は、教育、労働、DV、高齢化など多様化・複雑化していることから、それぞれの専門相談窓口が連携して対応し解決を図る体制整備を進めること。</li> </ul>
<b>4 多文化共生の意識啓発・人材育成</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生社会づくりを進めるには、お互いを理解することが極めて重要であり、国際理解講座等の開催などにより、意識啓発を進める。</li> <li>・在住外国人が地域社会に参画するには、ボランティアの育成、特にキーパーソンとなる人材の育成や在住外国人の意見を施策に反映させる仕組みづくりを進めること。</li> </ul>
<b>5 留学生等人材の活用</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生は、卒業後も本県の理解者・支援者として活躍が期待されていることから、就職支援について、県内企業・団体等とのマッチングやインターンシップの受入を進めること。</li> </ul>